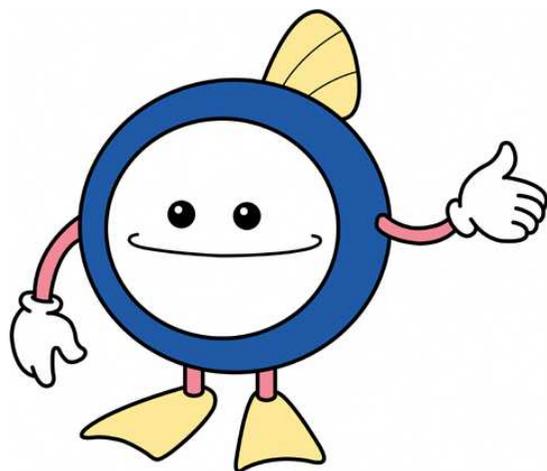


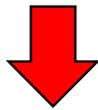
下水道排水設備指定工事店事務連絡会議

令和8年2月26日(木)



【施工】 事例①

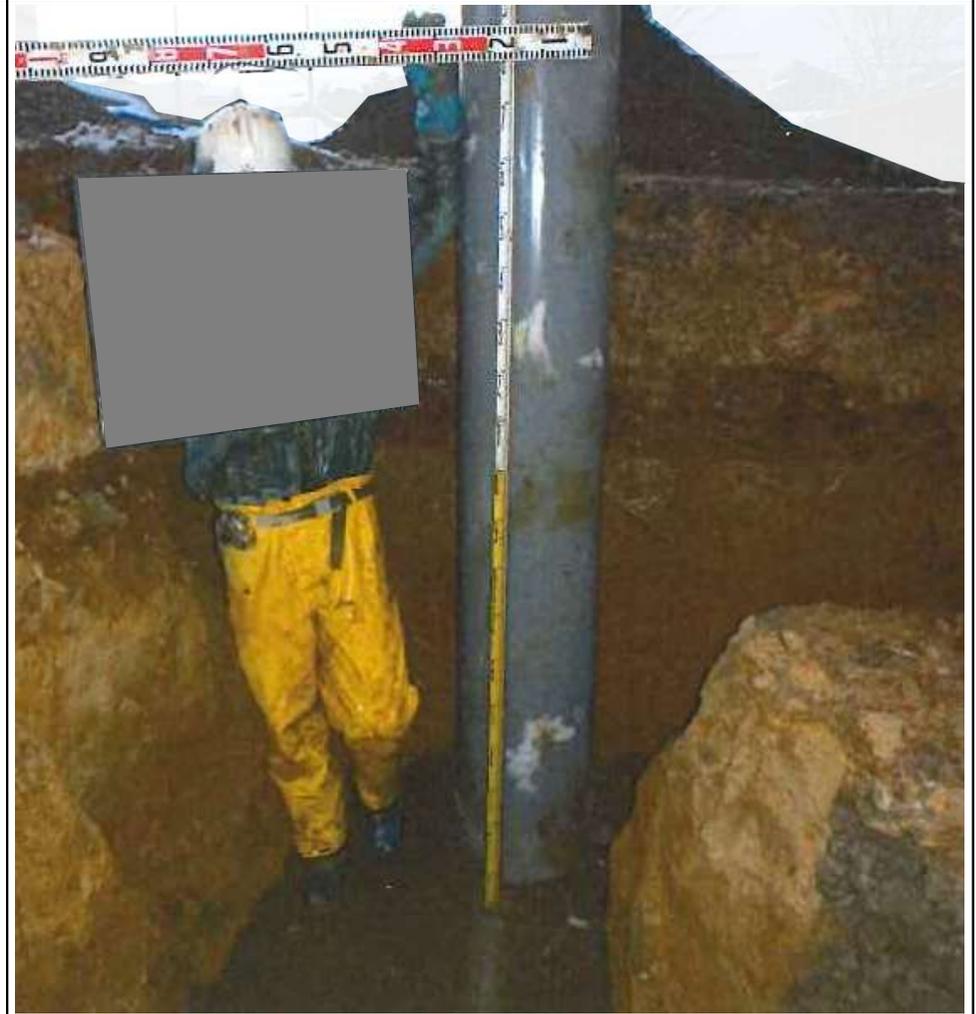
掘削の深さが1.5mを超えるにもかかわらず、土留め等が施されていない。



土砂が崩落し、作業員が生き埋めになる恐れがある。

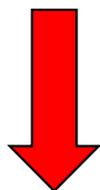
『排水設備の設計と施工』P51

「掘削の深さが1.5mを超える場合又はそれ以下であっても土質等により土砂が崩壊する恐れがある場合は、土留めを施すこと等により安全を確保する。」



【施工】 事例②

排水設備工事完了検査で通水検査したら、汚水ます内で滞水していた。原因を調査したところ・・・



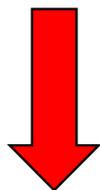
排水管内に詰まった砂利により閉塞していた。

※ 土砂や管の切りくず等が管内に残留していないかどうか十分に確認すること。



【施工】 事例③

公共ますに排水管を接続する際、
防護ふたを撤去せずに流入口を
「たぬき掘り」で露出させて排水管
を接続したため、埋め戻しの際に
十分に転圧することができない。



公共ますの周囲に空洞ができ
陥没が発生する恐れがある。



【施工】 事例③(公共ますの周囲が陥没した例)



【施工】 事例③

(望ましい例)

◎ 望ましい例
公共ますの防護ふたをいったん撤去したうえで排水管の接続を行う。



埋戻しの際、公共ますの直近まで十分に転圧することができる。
⇒ 公共ます周辺の陥没の発生を防ぐことができる。



【施工】 事例③

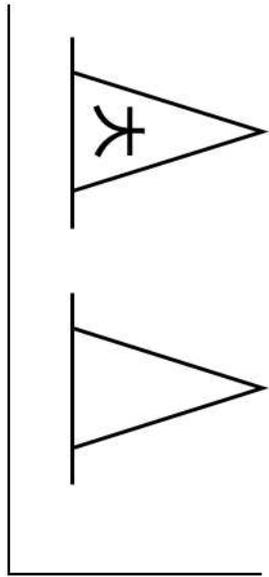


(望ましい例)

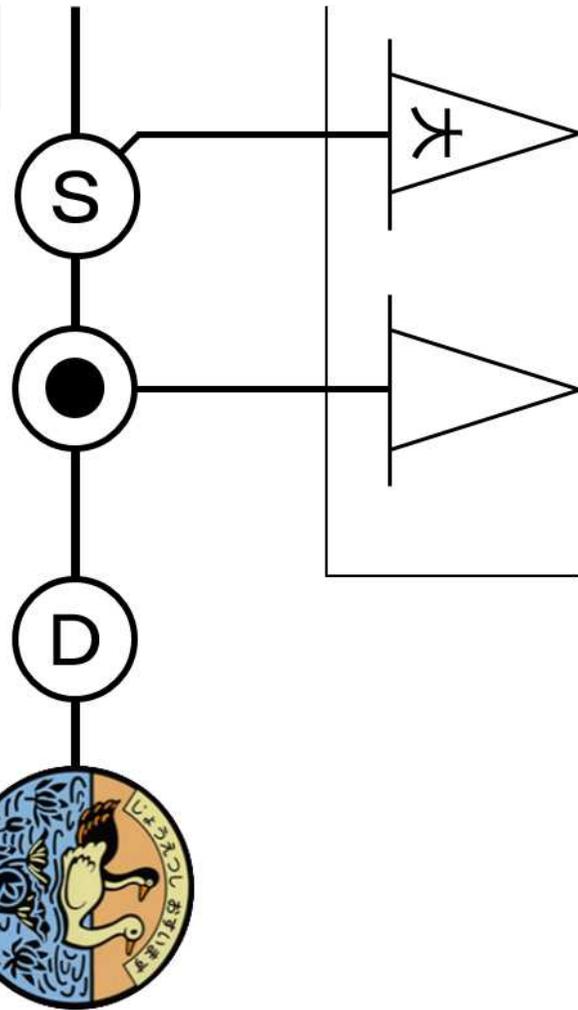


【施工】 事例④

接続前



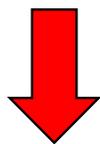
接続後



【施工】 事例④

公共ますに排水管を接続する際
公共ますの「防護ふた」をいったん
撤去してから接続したが...

⇒ 防護ふたを元の場所に戻す際に
向きを間違えてしまった。

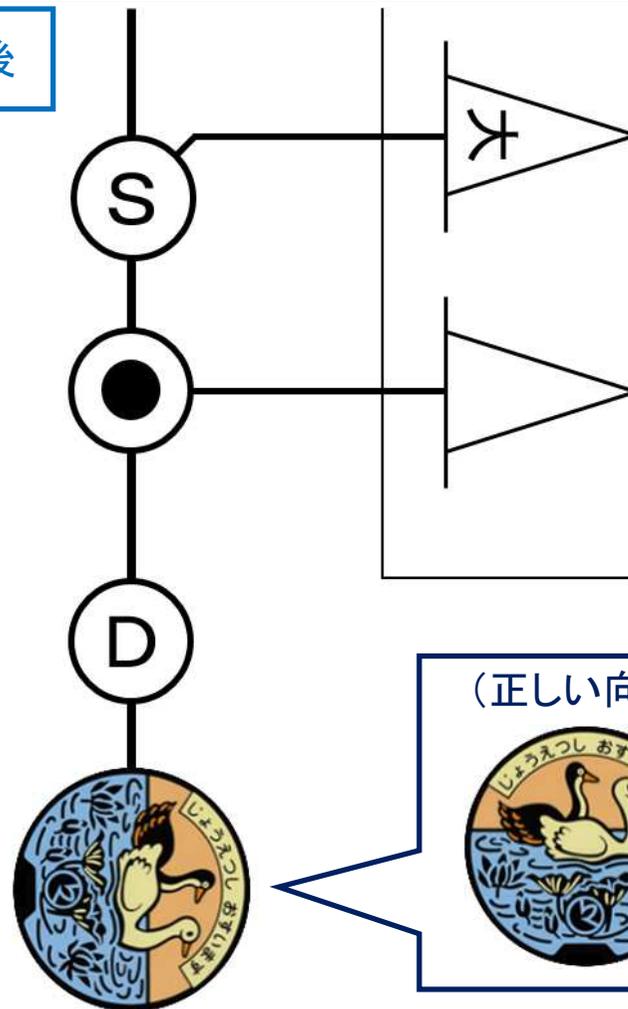


防護ふたの向きを変えてしまうと、
ふたが開く向きが変わってしまう。



防護ふたの開閉に支障が生じる恐
れがある。

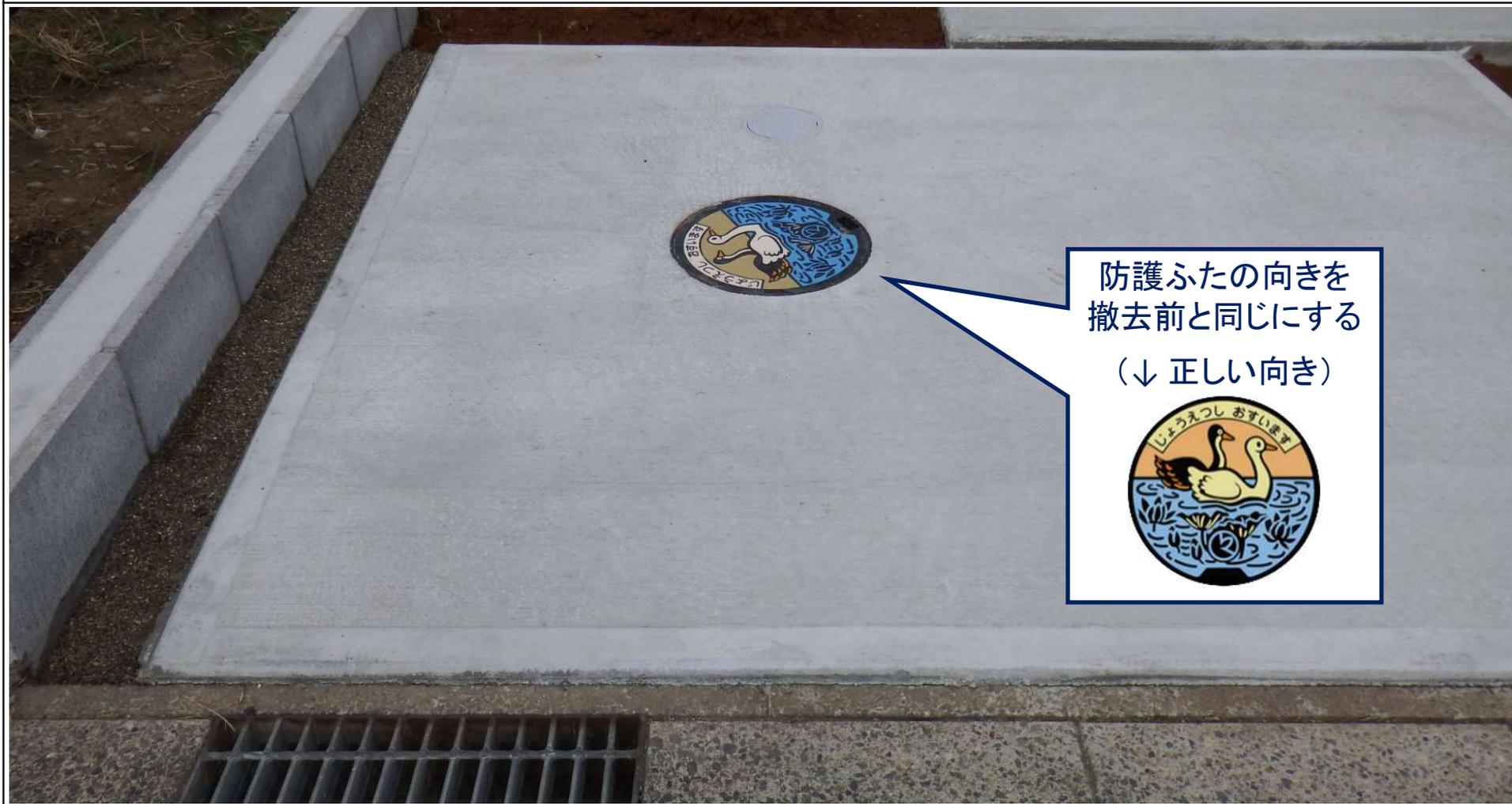
接続後



(正しい向き)



【施工】 事例④(防護ふたの向きを間違えた例)



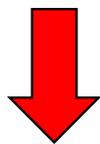
防護ふたの向きを
撤去前と同じにする
(↓正しい向き)



【施工】 事例⑤

公共ますに排水管を接続する際、
公共ますの「防護ふた」をいったん
撤去してから接続したが...

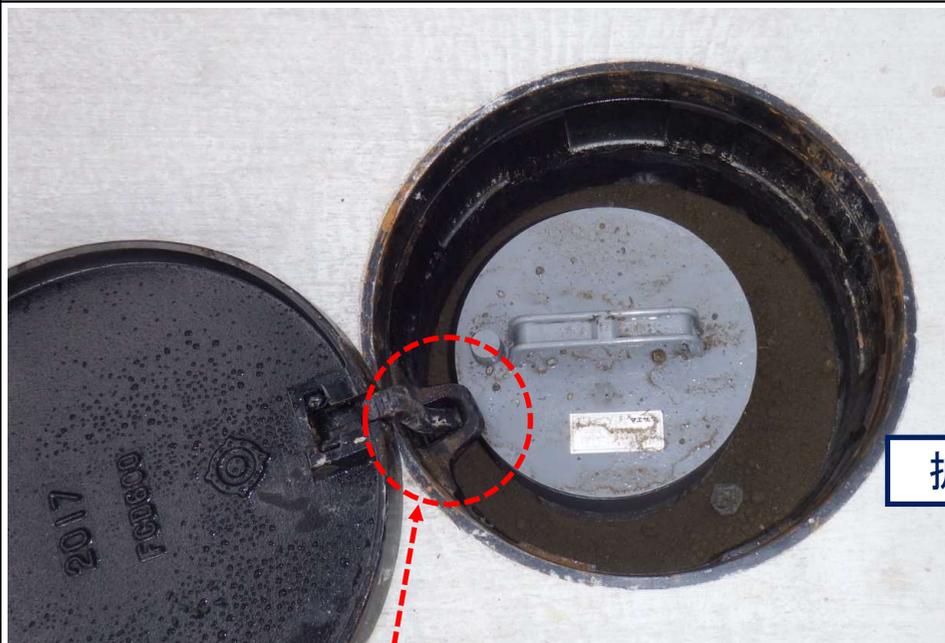
→ 防護ふたを元の場所に戻す際、
防護ふたの中心をずらして設置
してしまった。



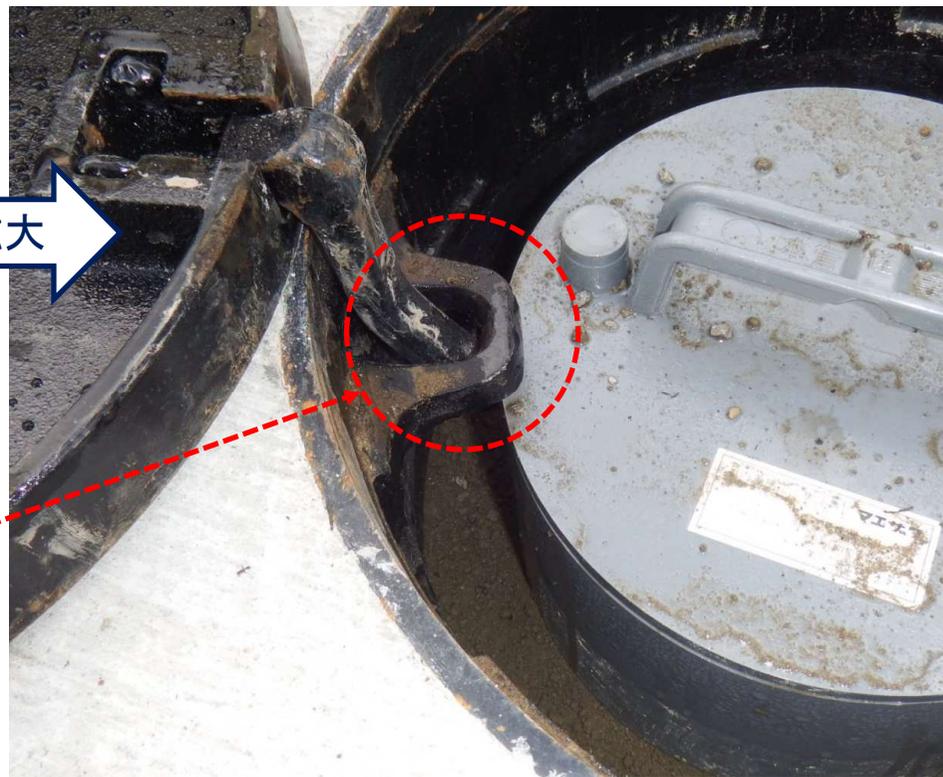
内ふたの開閉に支障が出る恐れ
がある。



【施工】 事例⑤(防護ふたの中心をずらして設置した例 その1)



拡大



この部分が内ふたの端を
押さえてしまっているため
内ふたを開けることができ
ない。

【施工】 事例⑤(防護ふたの中心をずらして設置した例 その2)



拡大

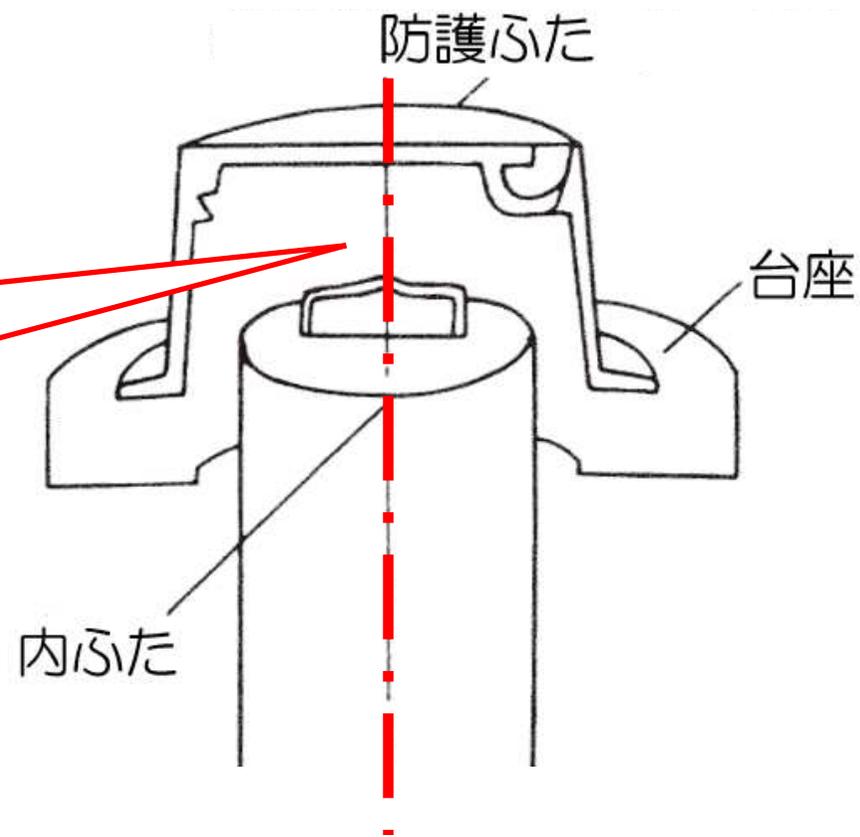


防護ふたの中心がずれてしまっていることに加え
内ふたの上に土砂が乗ったままになっているのも
問題である。

⇒ 内ふたを開けたときに土砂が公共ます内に落下し
管の詰まりを引き起こす恐れがある。

【施工】 事例⑤

公共ますの防護ふたを元に戻す際は
防護ふたの中心を内ふたの中心に
合わせる。

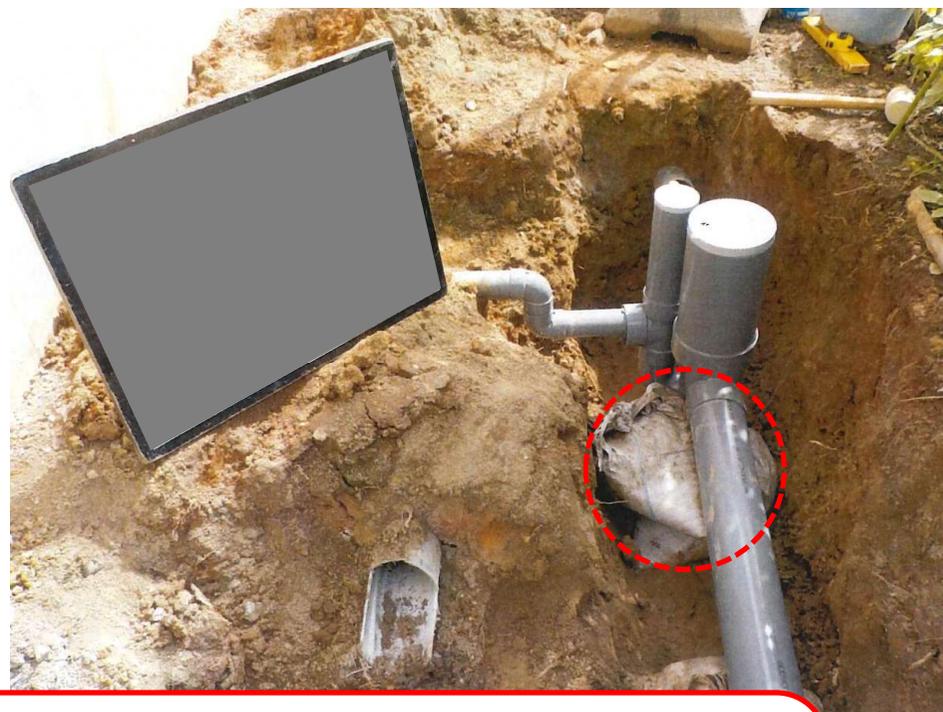


【施工】 事例⑥(その1)



排水管の上に不用意に乗らない。
(管のこう配の狂い、たわみ等により汚水の滞留が発生する恐れあり)

【施工】 事例⑥(その2)



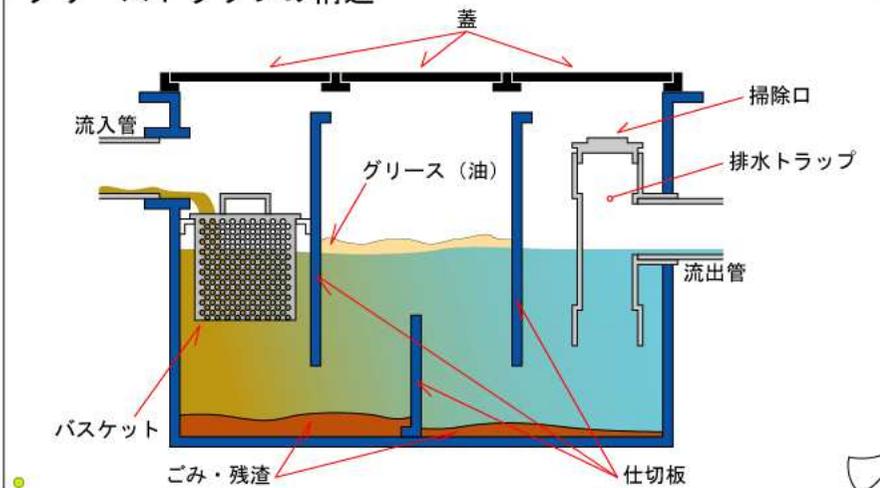
排水管の下に土のう ⇒ 「埋戻し時に撤去した」とのことだが・・・
排水管の床面はどうやって突き固める？



管のこう配の狂い、たわみ等により汚水の滞留が発生する恐れあり

【グリーストラップの役割】

グリーストラップの構造



グリーストラップを設置する際は使用者に対し維持管理を適切に実施するよう指導願います。

- | | |
|--------------|----------|
| ・バスケットの清掃 | 毎日1回 |
| ・グリース(油)の清掃 | 1週間に1回 |
| ・ゴミ、残渣の清掃 | 1ヶ月に1回 |
| ・排水トラップ内部の清掃 | 1~3ヶ月に1回 |

* 上記は標準的な清掃の頻度です。

グリーストラップの維持管理が不十分な例



・・・その結果、下水道管の閉塞を引き起こすことも。



下水道管の閉塞事故 その1 (飲食店A 平成30年6月)

① 汚水ますの状況



② 公共ますの状況



下水道管の閉塞事故 その1（飲食店A 平成30年6月）

③ マンホールの状況



④ 復旧作業の様子



下水道管の閉塞事故 その2（飲食店B 平成29年11月）

① マンホール内の状況



滞水
+
油脂の固まり、
汚れの付着



滞水

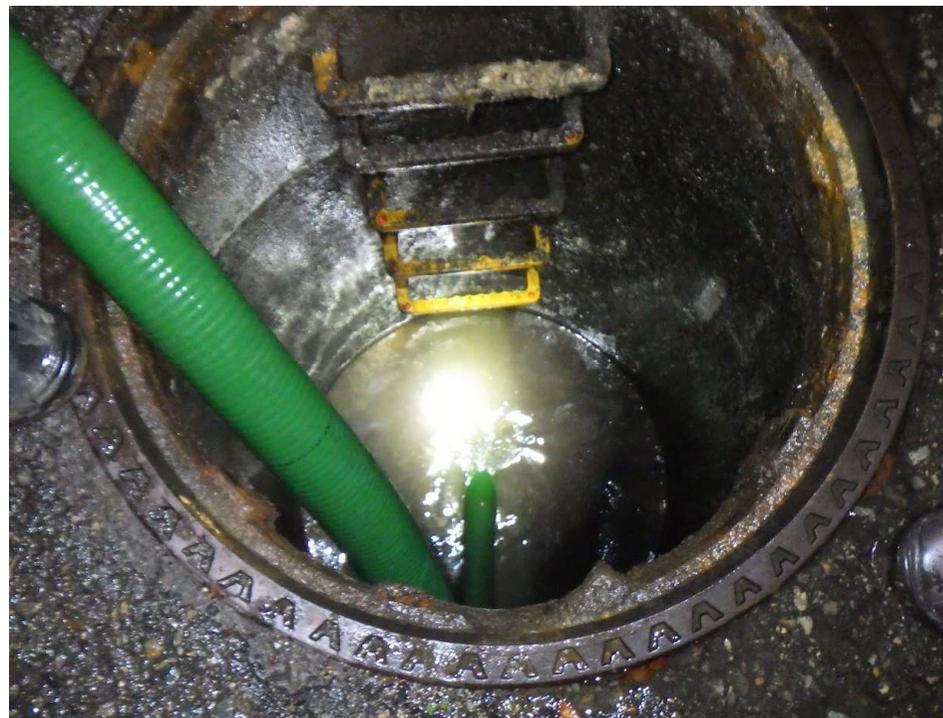
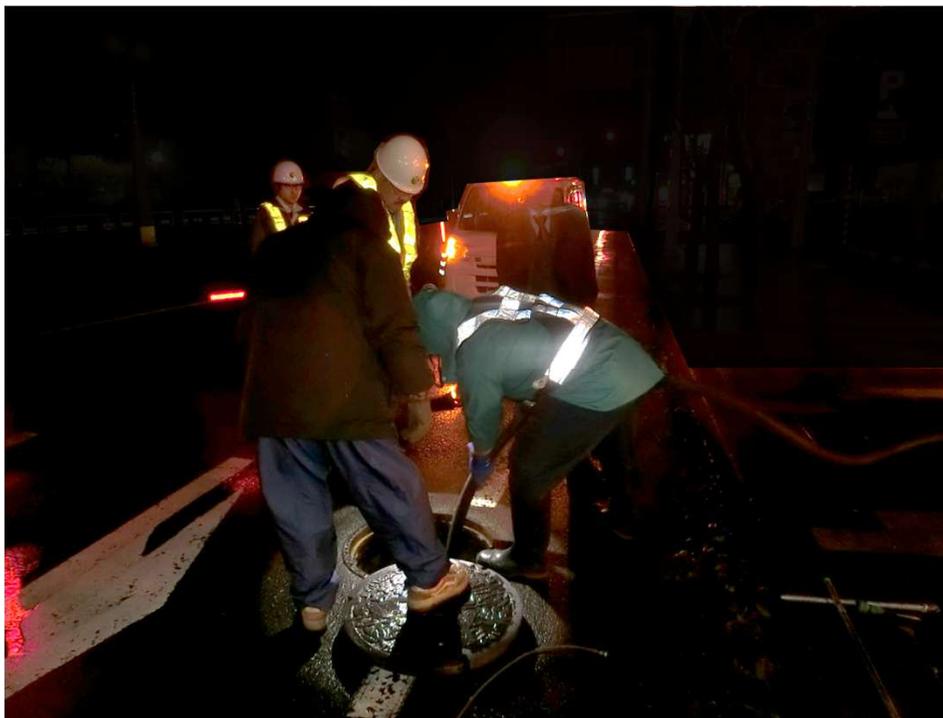
② ①の上流にある飲食店の グリーストラップの状況



水面が油脂で覆われている。
維持管理が行われている様子は
見受けられない。

下水道管の閉塞事故 その2（飲食店B 平成29年11月）

③ 復旧作業の様子



下水道管の閉塞事故 その2（飲食店B 平成29年11月）

グリーストラップの状況（「閉塞時」と「清掃後」）



下水道管閉塞時
（平成29年11月）



清掃後
（平成30年12月）

工事写真の撮影方法について

令和7年9月4日

下水遊排水設備指定工事店各位

上越市ガス水道局
供給計画課長

排水設備工事に関するお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より、当市の下水遊排水設備に関するご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、これまでご利用いただいていた申請書の様式につきまして、より利便性を高めるため、新たにExcel形式で作成し、局ホームページに掲載いたしました。

掲載箇所は以下になります。

ガス水道局HP > お客様へ > 下水道・農業集落排水 > 下水道関係様式
リンク先 <https://www.city.joetsu.niigata.jp/customer/gesui/youshiki/>

※ 古い様式での申請が敬見されますので、局ホームページより新様式をダウンロードして活用いただきますようお願いいたします。

■ その他

工事写真の撮影について

検査時にも指摘させていただいた内容に関して、改めて以下の点を遵守いただきますようお願いいたします。

- ・元の状態と完成後と比較できるよう、できる限り同じアングルで着手前及び完了時の写真を撮影してください。
- ・浄化槽に関する作業状況（清掃・消毒状況、底部の削孔状況、埋戻し状況）を記録し写真を添付してください。
- ・黒板に記載する文字は誤字や記載ミスがないよう、確認・修正を徹底してください。
- ・写真撮影時の手ぶれ防止に留意し、鮮明な写真を撮影してください。

<参考>

添付する写真

- ① 施工前・完了後（比較できるように同アングル）
- ② 施工状況（浄化槽撤去またはくみ取り便所改造をした場合、その作業状況も含む）
- ③ 水道メーター
- ④ 阻集器を設置した場合、「日本阻集器工業会」認定品であることを証明する認定証票

問い合わせ先
上越市ガス水道局供給計画課
需要設備係 山田、猪爪
TEL 025-522-5517

・元の状態と完成後と比較できるよう、できる限り同じアングルで着手前及び完了時の写真を撮影してください。

・浄化槽に関する作業状況（清掃・消毒状況、底部の削孔状況、埋戻し状況）を記録し写真を添付してください。

・黒板に記載する文字は誤字や記載ミスがないよう。確認・修正を徹底してください。

・写真撮影時の手ぶれ防止に留意し、鮮明な写真を撮影してください。

着手前・完了時写真(排水設備工事A その1)



着手前

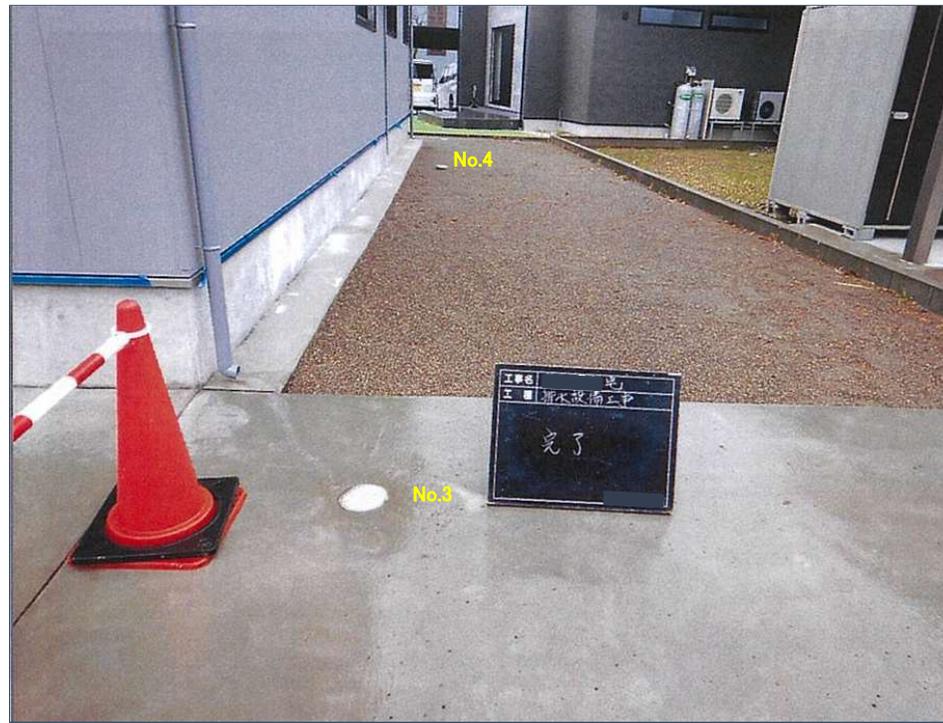


完了時

着手前・完了時写真(排水設備工事A その2)



着手前

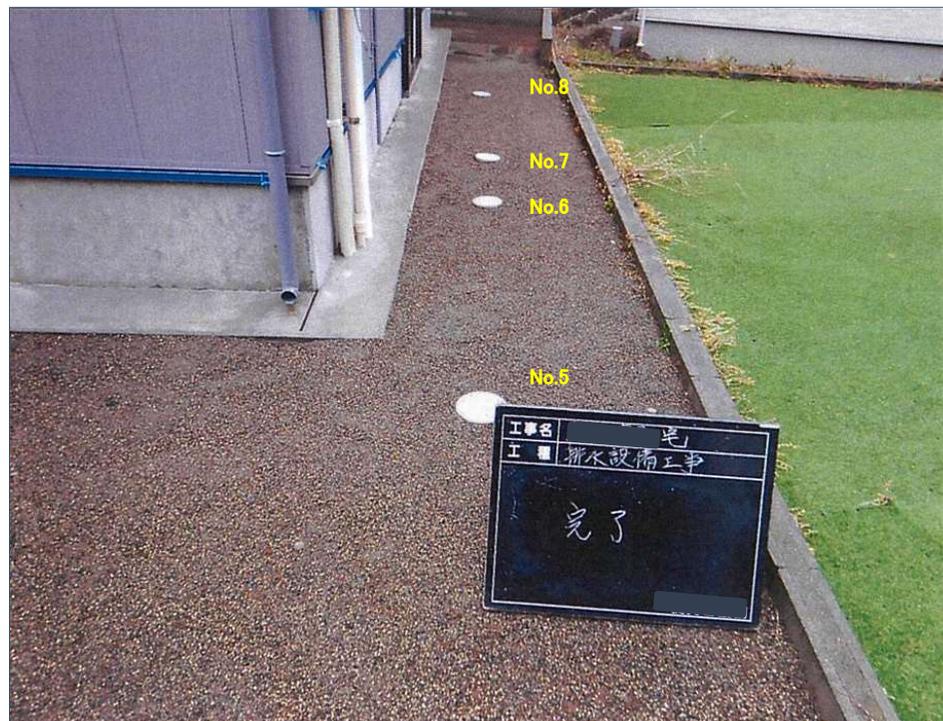


完了時

着手前・完了時写真(排水設備工事A その3)



着手時



完了時

着手前・完了時写真(排水設備工事B その1)



着手時



完了時

着手前・完了時写真(排水設備工事B その2)



着手時



完了時

浄化槽に関する作業状況写真



清掃・消毒状況



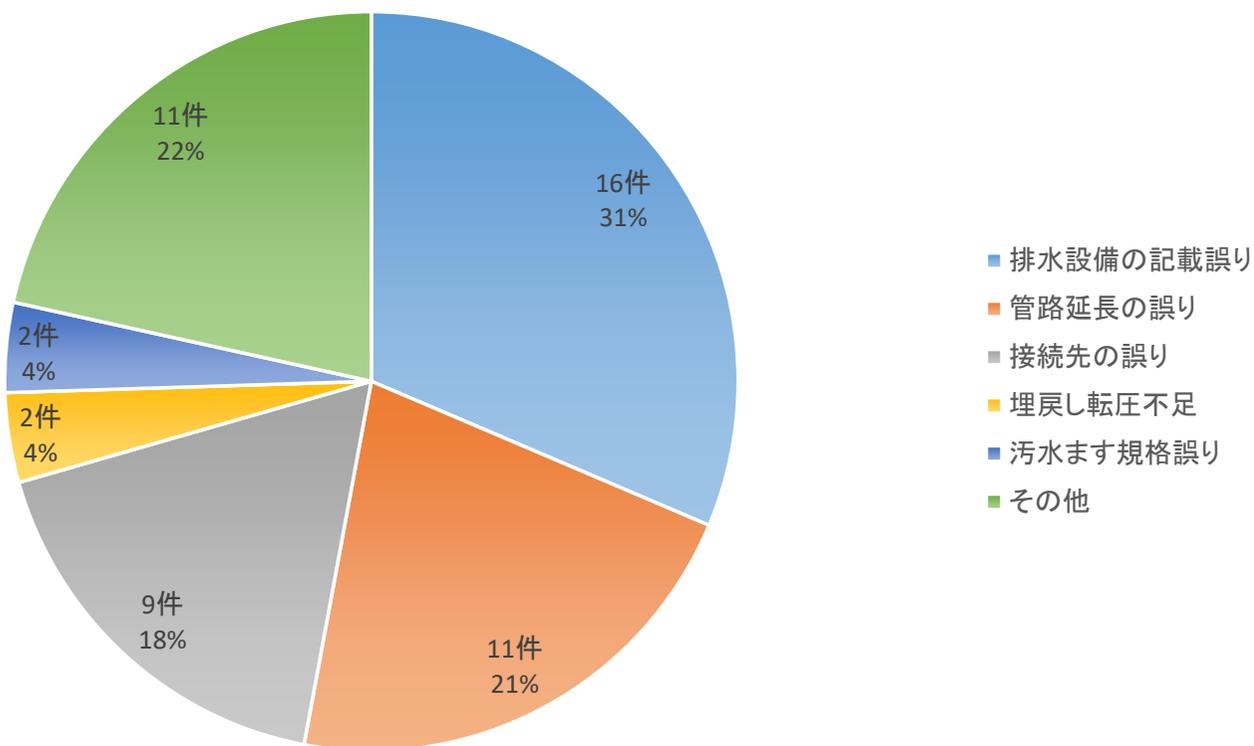
底部の削孔状況



埋戻し状況

【排水設備工事完了検査指摘事項】

排水設備工事完了検査指摘件数割合
(検査期間: R6.9.10～R7.1.21)



【排水設備工事完了検査指摘事項】

